



福島県双葉郡大熊町・双葉町における中間貯蔵施設の区域において、中間貯蔵終了後に復興を速やかに進めるには方向性、目指す将来像、そして具体的な整備の計画について早期に議論を開始することが求められる。

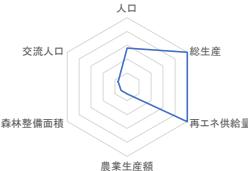
復興の方向性に係る議論の材料として、方向性の異なる将来の復興イメージと、対象地域の将来の社会経済活動に係る指標を定量化する手法を開発した。

4つの将来イメージ



先端産業を創り出す

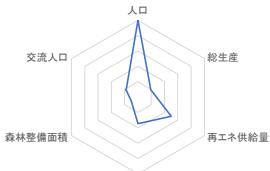
先端&革新の活発イメージ



先端的な企業活動のための産業拠点を整備することで、製造業、研究機関、情報/物流センター、再生可能エネルギー供給基地などが立地します。



暮らしを整える居住&生活の穏やかイメージ



地域内に住む方の生活を重視し、住宅とライフラインに加え、日常の買物・サービス、医療・福祉、安全で便利な交通などを中心に整備します。

[未来技術] 脱炭素: 脱炭素型コジェネレーション、合成自動車燃料、大規模太陽光発電所、水素製造、ZEB(ゼロエネルギー建物)、カーボン・ニュートラル・ガス生産、燃料電池トラック、省エネルギー型データセンター、産業: サイバネティック・アバター技術、産業AIロボット、DX[クラウド、業務AI]

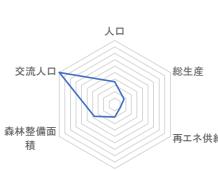
4つのイメージはそれぞれの方向性を極端に重視した将来像を示しています。これらの組み合わせで地域が目指す姿と必要な整備や技術を考えます。

[未来技術] 脱炭素: ZEH(ゼロエネルギー住宅)、ZEB(ゼロエネルギー建物)、木造中層建築、住宅用蓄電池・燃料電池、ペロブスカイト太陽電池、マイクログリッド、EV[普及型]、走行中給電施設、生活:自動運転/オンデマンド交通、アバター技術、生活支援AIロボット、遠隔医療



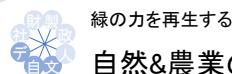
来訪者を歓迎する

観光&交流の賑やかイメージ

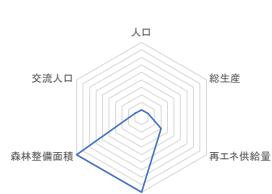


里山を活かした滞在施設を整備し、周辺地域と調和した観光・交流メニューをつくることで、国内外から多数の訪問者を受け入れます。

[未来技術] 脱炭素: ZEB(ゼロエネルギー建物)、木造中層建築、蓄電池、ペロブスカイト太陽電池、マイクログリッド、EVシェアリング、自転車活用、走行中給電施設、交流: サイバネティック・アバター技術、交流AIロボット、多言語対応環境、スマート林業



自然&農業の豊かイメージ



農地と森林の環境回復を強力に進めて農業と里山を再生し、高度技術を活用した農業・生産の復興に加え、バイオマス供給・CO₂吸収にも貢献します。

[未来技術] 脱炭素: 當農型太陽光発電、バイオ炭・高CO₂固定能植物、園芸施設の精密制御、農林業機械の電化・水素化、燃料電池トラック、脱炭素型農産物拠点、バイオマスコジェネレーション農業: スマート農林業、農業AIロボット、レーザー/天敵による害虫防除、アバター技術

将来を構想するためのシナリオ・アプローチ

中間貯蔵施設区域の復興のような大規模な整備が必要となる場合、どのような方向を目指したいかを考えることが重要です。ここではそのための方法として活用する地域の資源（地域資本）の種類と、地域内外の関係をどれくらい重視するかによって2つの軸を設定し、4つの象限にそれぞれ対応する将来のイメージを考えました。また、土地利用の構成から人口や経済活動なども試算しました。

